

授業科目 公衆衛生学

【担当教員名】 瀧口 徹	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		
【概要・一般目標：GI0】 地域社会の中で生活するすべての人々の健康に関する問題や衛生行政の仕組みなどについて理解し、将来直面する健康課題への対応力を習得する。				
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 公衆衛生の意義を説明できる。 2. 衛生統計の求め方や疫学的手法について説明できる。 3. 環境と人々の健康との関わりについて概説できる。 4. ライフステージ毎の健康課題について説明できる。 5. 衛生行政の仕組みや国際保健について説明できる。				
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号 学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	公衆衛生学総論			1 講義
2	公衆衛生の意義			1 講義
3	人口統計			2 講義
4	その他の衛生統計			2 講義
5	疫学			2 講義
6	環境と健康（1）地球環境、生活環境			3-4 講義
7	環境と健康（2）感染症の発症と予防			3-4 講義
8	環境と健康（3）物理的環境、化学的環境			3-4 講義
9	環境と健康（4）環境リスクの評価、環境検査法			3-4 講義
10	健康の保持増進（1）栄養保健、食品保健			3-4 講義
11	健康の保持増進（2）母子保健、学校保健			3-4 講義
12	健康の保持増進（3）成人保健、老人保健			3-4 講義
13	健康の保持増進（4）精神保健、産業保健			3-4 講義
14	衛生行政、医療制度			5 講義
15	社会保険、社会福祉、国際保健			5 講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	シンプル衛生公衆衛生 2011	鈴木庄亮、久道 茂、 辻 一郎	南江堂	2011・2,400円＋税
	平成24版 厚生労働白書	厚生労働省	日経印刷株式会社	2014・2,980円＋税
	改訂7版 疫学マニュアル	柳川 洋、坂田清美	南山堂	2003・4,410円＋税
	疫学辞典 第5版（日本疫学会訳） 日本の疫学 放射線の健康影響の研 究の歴史と教訓	Miquel Porta 重松逸造	(財)日本公衆衛生協会 医療科学新書	2010・3,500円＋税 1,200円＋税
その他の資料				
【評価方法】 小テスト（20%）毎回授業の時に 定期試験（80%）		【履修上の留意点】 授業資料を配布します。 公衆衛生は扱う範囲が広く、疫学や統計学に裏打ちされており、加えて行政と法律にも密接に関連しているため、1回ごとの授業の情報の量が多いので授業時間中の理解が大切です。特に図表の正確な理解が必須です。参考書は図書館に有るので、利用してください。		